

2020年12月期 第1四半期決算説明会



TMAX 560

ヤマハ発動機株式会社
2020年5月29日
(証券コード:7272)

本日ご説明する内容

2020年12月期 第1四半期決算

代表取締役社長 日高 祥博

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

新型コロナウイルス感染症 影響と対応

対応ポリシー

会社としての緊急対応ポリシー

- 1: 社員・ステークホルダーの生命を最優先し感染拡大を防ぐ
事業所・工場の一時的閉鎖、テレワーク・時差勤務の早期実施、社会支援活動
- 2: 迅速な意思決定による事業損失の極小化
需要を見極めた生産コントロール、徹底的な経費・投資支出の削減
- 3: パンデミックに対応した事業継続計画(BCP)のレベルアップ
新しい働き方(テレワーク等)での生産性の維持と改善、SCMの機動性向上

当社が出来ることで地域・社会に貢献

樹脂製フェイスシールド・除菌洗浄水の製造と医療機関への提供（日本）
医療従事者への二輪車寄付・無償レンタル（タイ/ドイツ/スウェーデン）
医療施設・医療支援団体への寄付・支援物資（中国/イタリア/アメリカ/カナダ）
困窮者への寄付・食料分配サービス（ブラジル/コロンビア）

販売台数への影響（当社出荷台数）

3月からコロナウイルスの影響が顕在化。

（前年比）

商品/地域		1月+2月	3月
二輪車	欧州・米国・日本	118%	74%
	インドネシア	104%	80%
	タイ	82%	68%
	ベトナム	99%	87%
	フィリピン	84%	44%
	中国	96%	152%
	インド	84%	62%
	ブラジル	114%	109%
ATV+ROV	北米	99%	68%
PAS		116%	83%
船外機	北米・欧州	85%	71%
マウンター		115%	100%

主要地域の生産状況（3月～5月）

逐次生産を再開し、販売を挽回していく。

需要回復時に機動的に対応するため、サプライチェーンの安定に努める。

地域	主な生産品	停止日数/操業日数	現在の稼働状況
日本	二輪車	16日間 / 60日間	一部稼働
	船外機	27日間 / 60日間	停止
米国	ゴルフカー・WV・ATV・ROV	30日間 / 63日間	稼働
欧州	二輪車・二輪車エンジン	33日間 / 60日間	稼働
インドネシア	二輪車	20日間 / 56日間	稼働
タイ	二輪車	13日間 / 58日間	稼働
ベトナム	二輪車	16日間 / 62日間	一部稼働
フィリピン	二輪車	51日間 / 62日間	停止
インド	二輪車	54日間 / 70日間	一部稼働
ブラジル	二輪車	19日間 / 61日間	稼働

※中国は、2月後半に稼働済み

※日本のみ、4～6月の期間で記載

概要説明

2020年1Q 経営状況

売上高・営業利益：ロボティクス事業・金融サービス事業を除き減収。全事業で減益。
 当期純利益：繰延税金資産の取り崩しにより、減益。

(億円)	2019年 1Q	2020年 1Q	前年比
売上高	4,293	3,959	92%
営業利益	359	254	71%
営業利益率	8.4%	6.4%	△2.0pts.
経常利益	375	268	72%
当期純利益※	283	96	34%

年間予想	前年比
未定	—

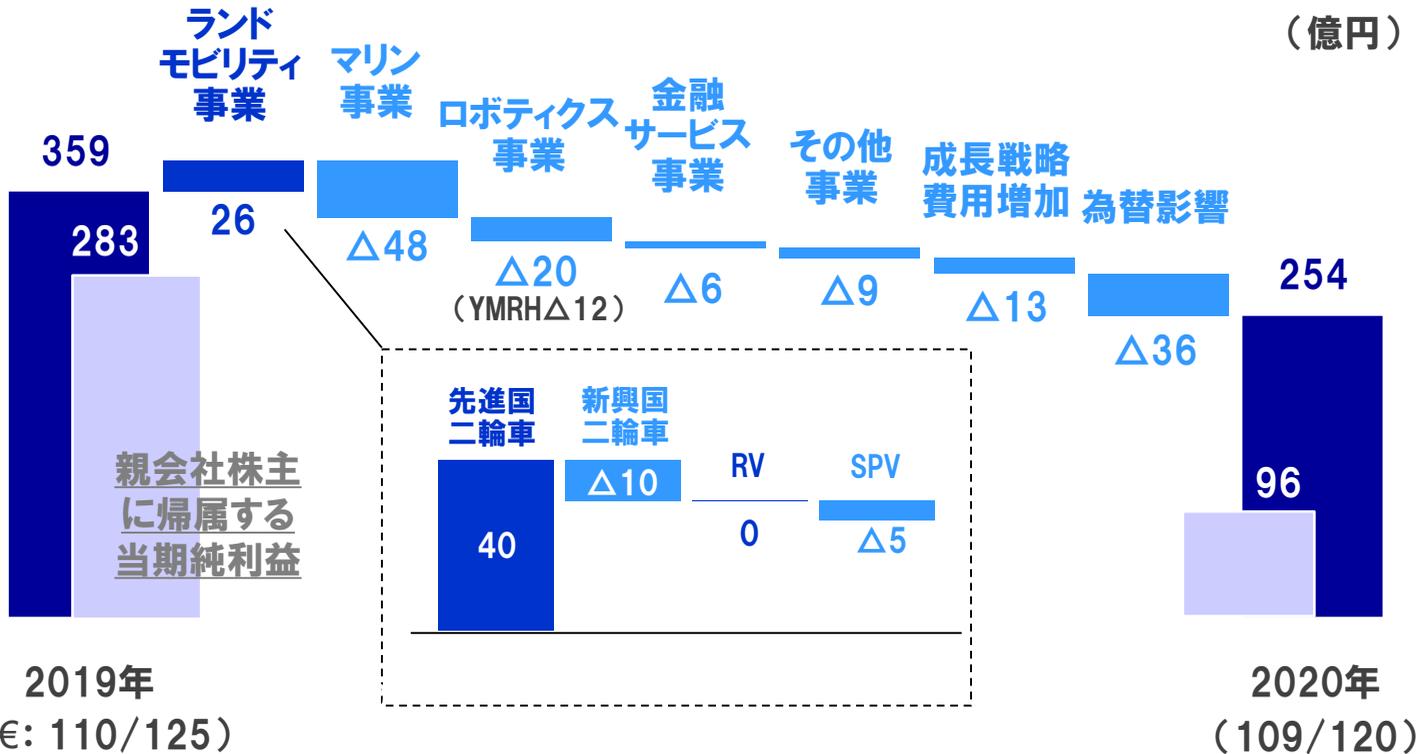
(\$・€)	110・125	109・120	—
(\$/IDR・BR\$)	14,077・3.8	14,119・4.4	—

108・120	—
13,700・4.1	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2020年1Q 営業利益変動要因

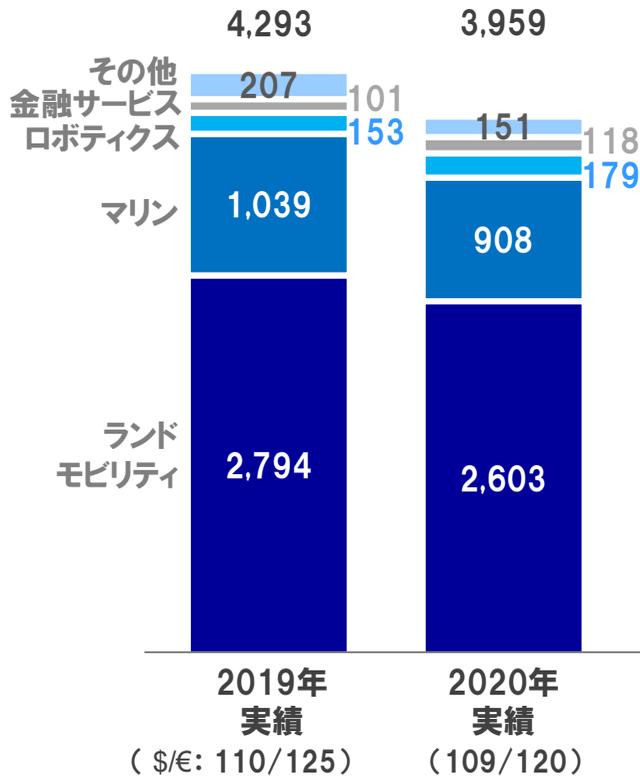
先進国二輪車事業は収益性改善。
マリン事業・ロボティクス事業を中心に減益。



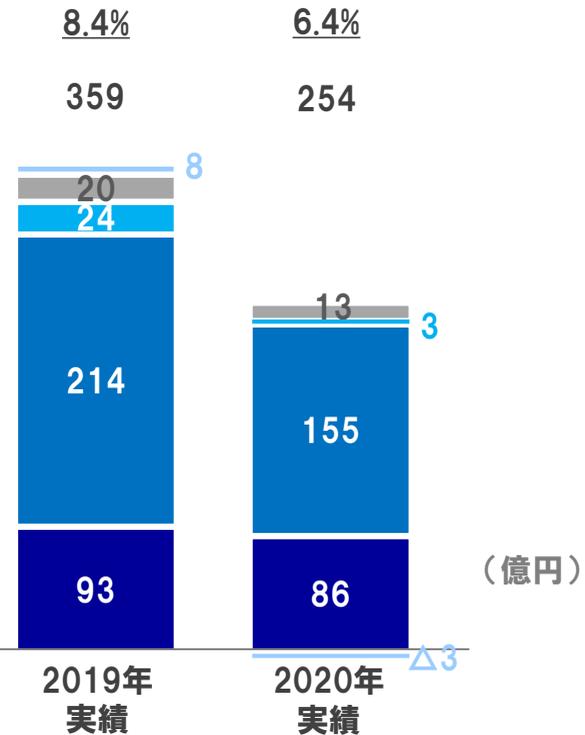
事業別説明

事業別 売上高・営業利益

売上高



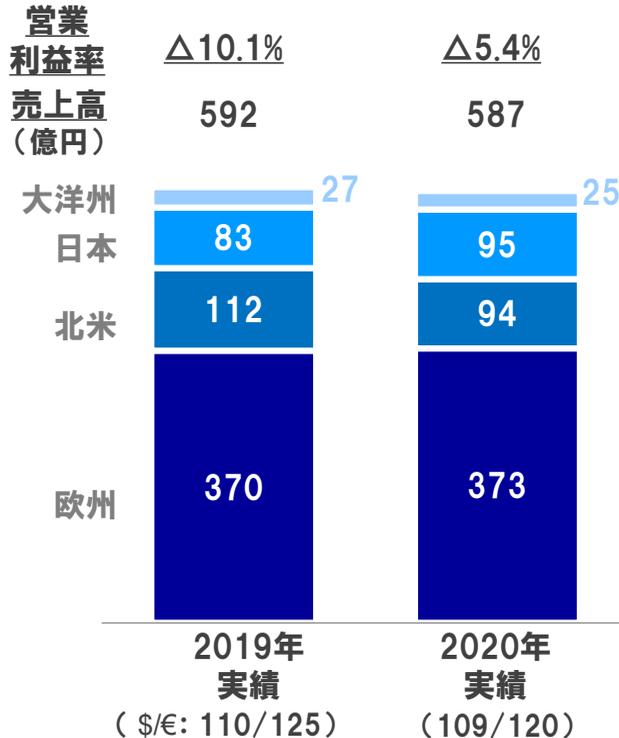
営業利益



2020年1Q 事業業績

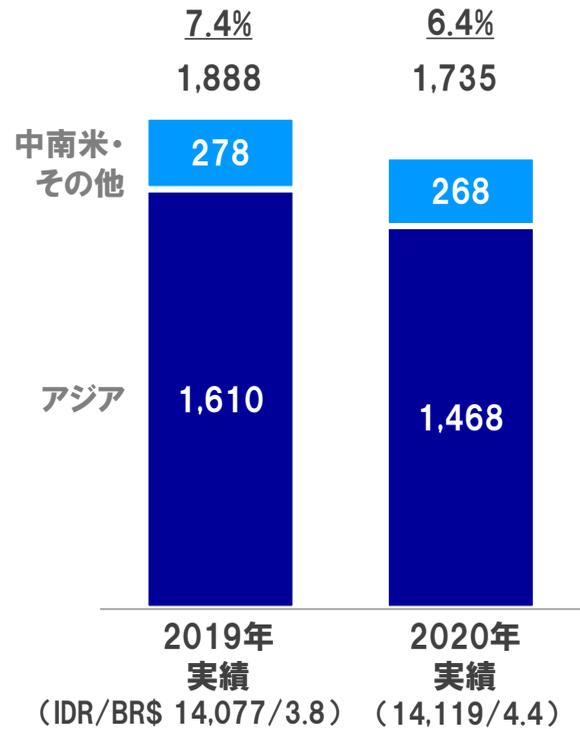
ランドモビリティ事業 先進国二輪車

日本販売増加。欧州モデルミックス改善。
欧州・本社工場の稼働率上昇。



ランドモビリティ事業 新興国二輪車

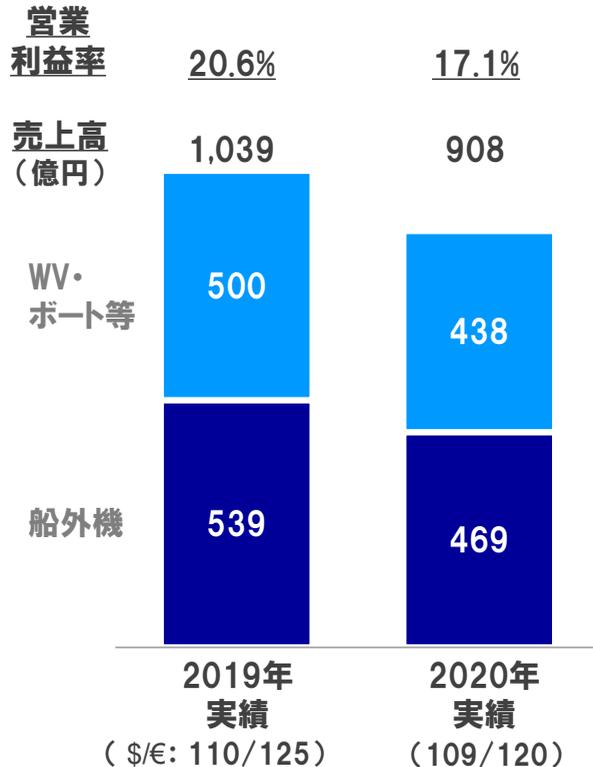
フィリピン・インド・ベトナム販売減少。
ベトナム・インドでモデルミックス悪化。



2020年1Q 事業業績

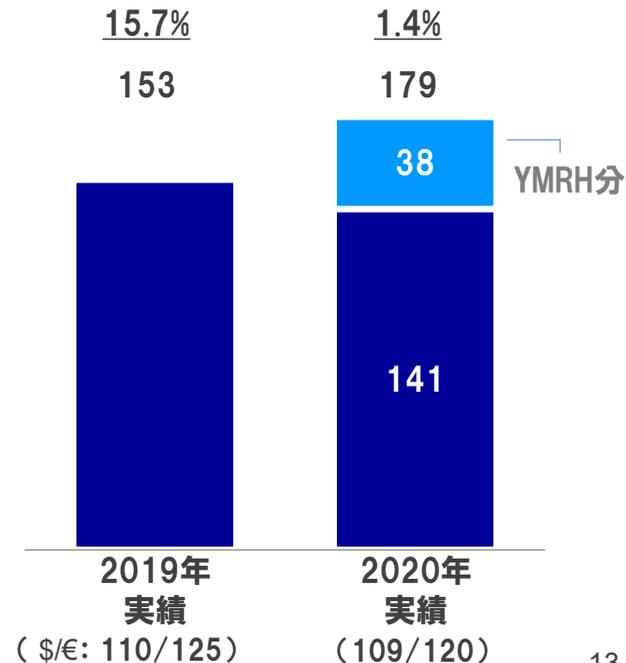
マリン事業

船外機は在庫調整実施。WV・ボート等は
コロナウイルス影響による生産・販売減少。



ロボティクス事業

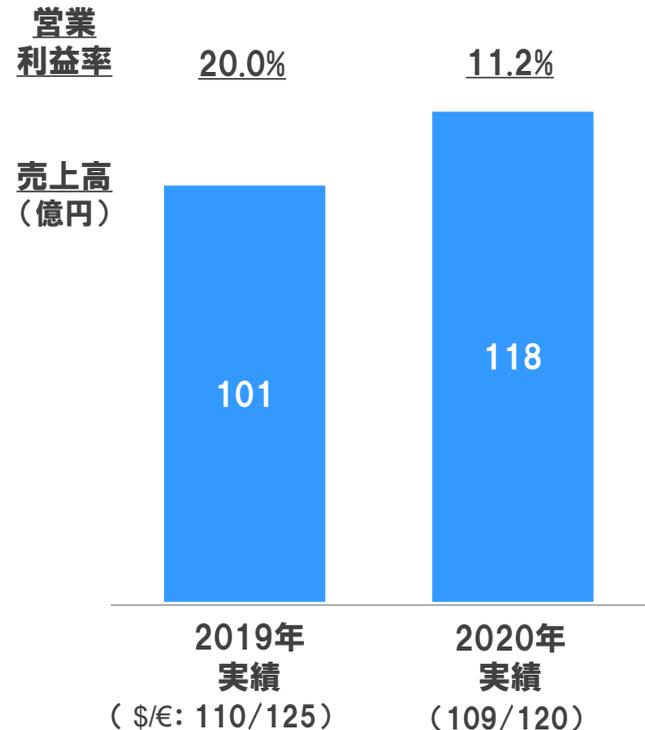
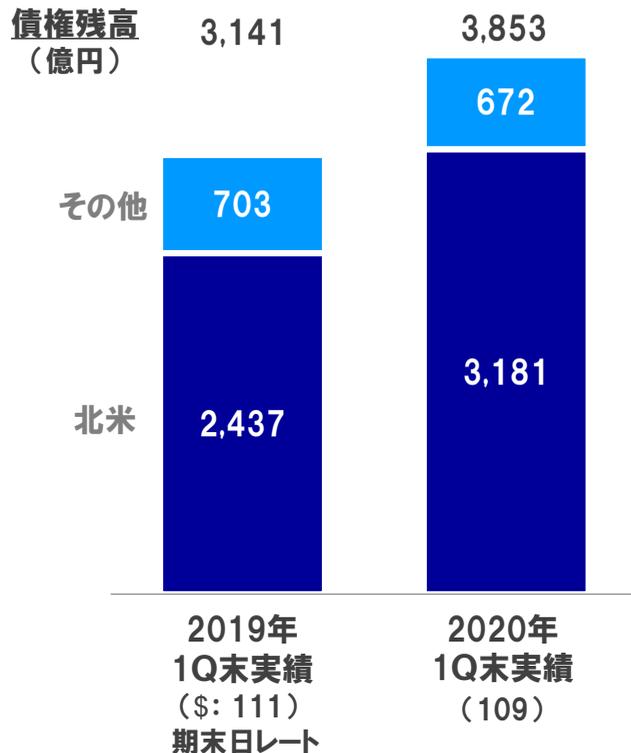
自動車関連向けが減少し、ミックス悪化。
コロナウイルス収束後の販売活動に備える。



2020年1Q 事業業績

金融サービス事業

米国プライム層向け金融プログラム自前化により債権残高増加。
コロナウイルス影響を見据えた貸倒引当金増加により、減益。



今後の展望と 中長期施策の進捗状況

主要商品別 当社出荷台数（4月実績/5月+6月見通）

多くの事業・地域で前年を下回る見通し

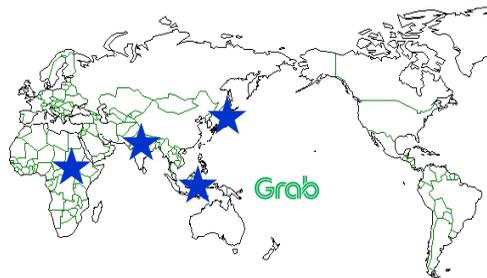
（前年比）

商品/地域		4月(実績)	5月+6月(見通)
二輪車	欧州・米国・日本	55%	80%
	インドネシア	21%	20%
	タイ	44%	50%
	ベトナム	37%	95%
	フィリピン	4%	25%
	中国	203%	115%
	インド	-	50%
	ブラジル	31%	80%
ATV+ROV	北米	91%	105%
PAS		73%	100%
船外機	北米・欧州	46%	85%
マウンター		95%	80%

中長期施策 ART for Human Possibilities 進捗状況

新規分野

モビリティサービス



MaaS対応向け事業開発を加速

低速車両自動運転



工場内物流の自動運転化

果菜農業 省人化



投資先とプロジェクト推進

基幹事業

ランドモビリティ



広がるモビリティ:
LMWラインナップ拡充

マリン



HARMO(電動推進システム):
実証実験(2020年夏 実施予定)

ロボティクス



YMRH完全子会社化:
トータルソリューション強化

今後の対応

事業経営

需要回復にむけ、安全を担保した工場・サプライチェーンの正常化。
一方でリスクに備えた徹底的な経費削減を継続。

資金確保

生産調整による在庫の速やかな適正化と投資の削減。
機動的な借入による必要資金の確保完了。

成長戦略経費・投資

選択と集中により全体を絞りつつ、将来の成長に向けた新規分野と、
基幹事業強化のための最低限の投資は継続。

株主還元

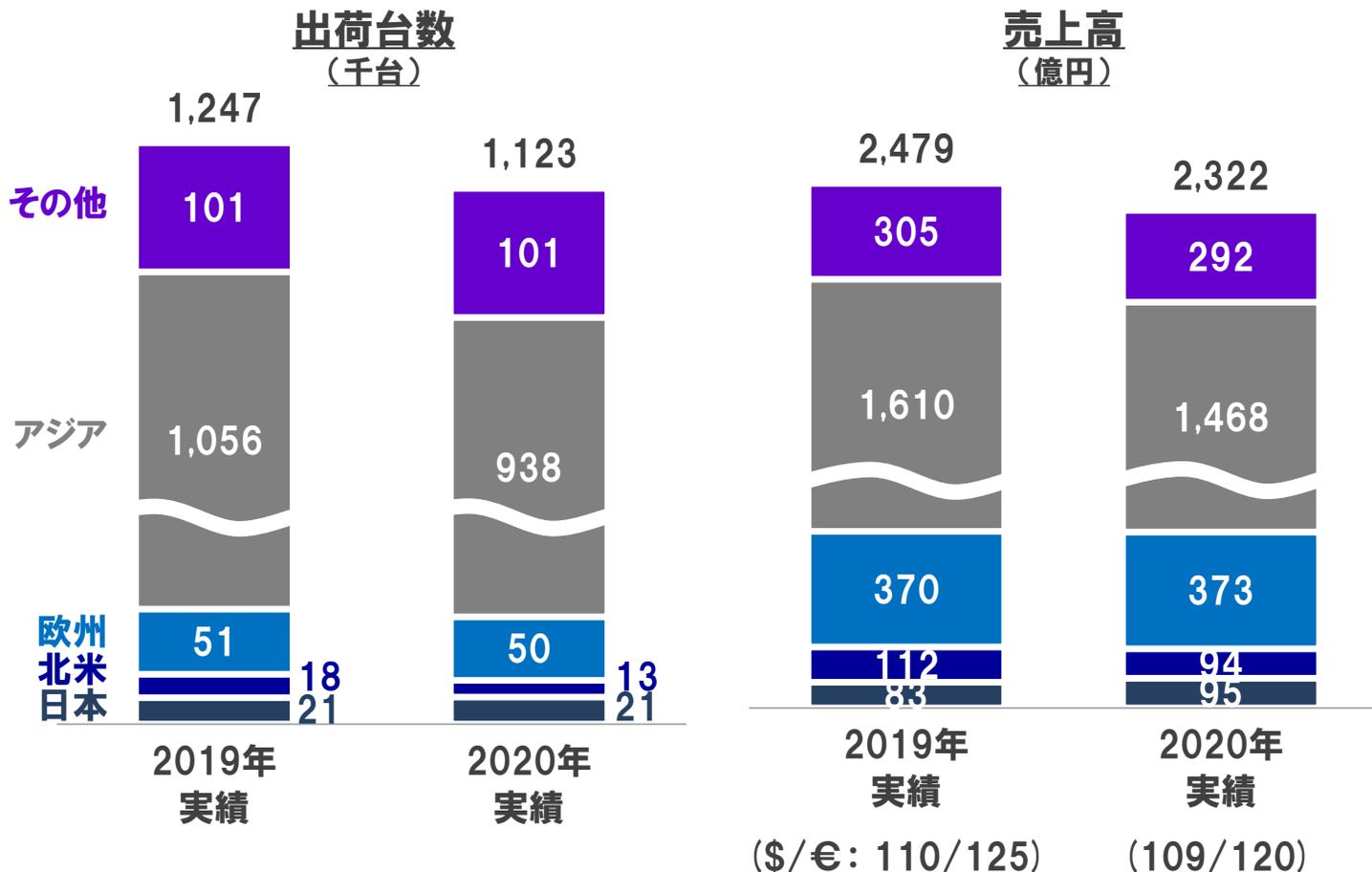
手元流動性の確保のため中間配当見送り。
年間配当は、配当性向方針(30%水準)に従い、
見通しが可能になり次第、速やかに発表予定。



YAMAHA

Revs Your Heart

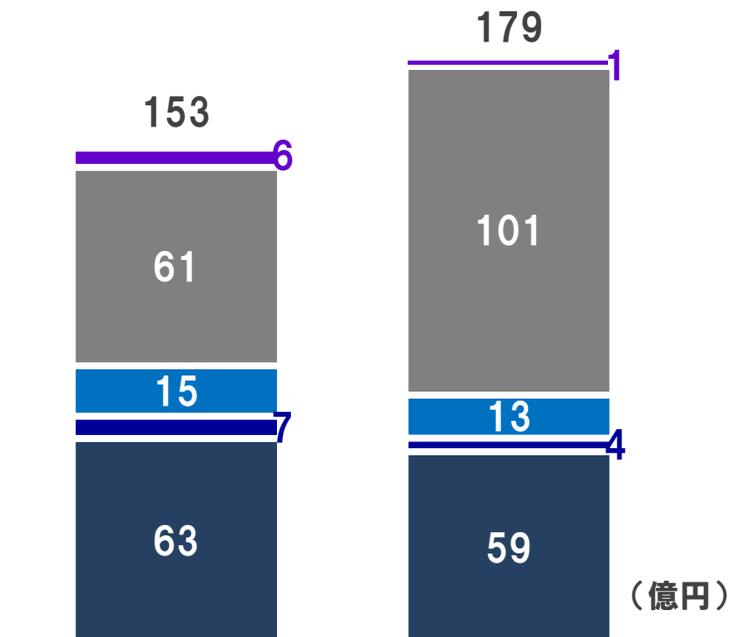
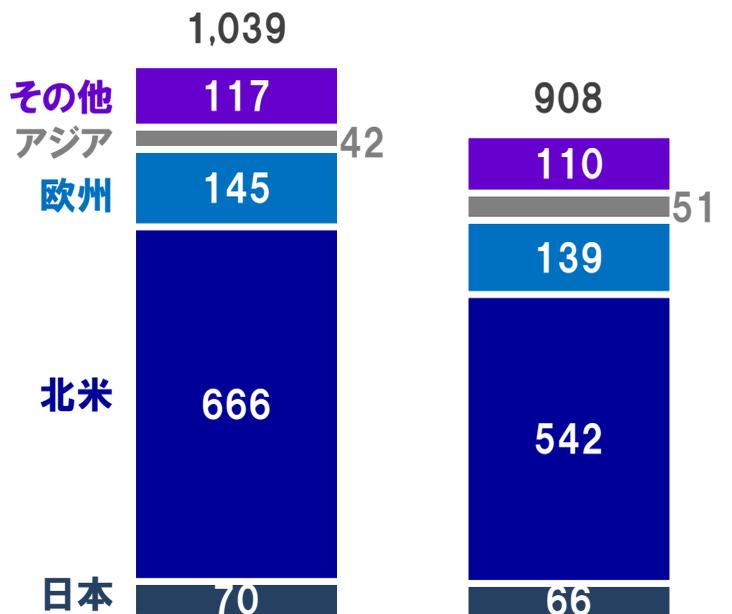
二輪車販売台数・売上高（1Q）



マリン、ロボティクス 売上高 (1Q)

マリン

ロボティクス



2019年
実績

2020年
実績

2019年
実績

2020年
実績

(\$/€: 110/125)

(109/120)

(億円)

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	19年1Q	20年1Q
設備投資	76	121
減価償却費	122	127
成長戦略費用を含む 研究開発費	270	295
有利子負債	4,009	5,111

為替影響（対前年）

(億円)	1Q (3ヶ月)			
	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	△4	△10	△4	△18
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△12	△12
粗利益の換算影響（海外子会社）	△2	△5	△15	△22
販管費の換算影響（海外子会社）	2	4	12	17
営業利益への為替影響	△5	△11	△19	△36

為替感応度

1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$	EURO
3億円	2億円



YAMAHA

Revs Your Heart